

加工食品の物価及び生産・販売動向

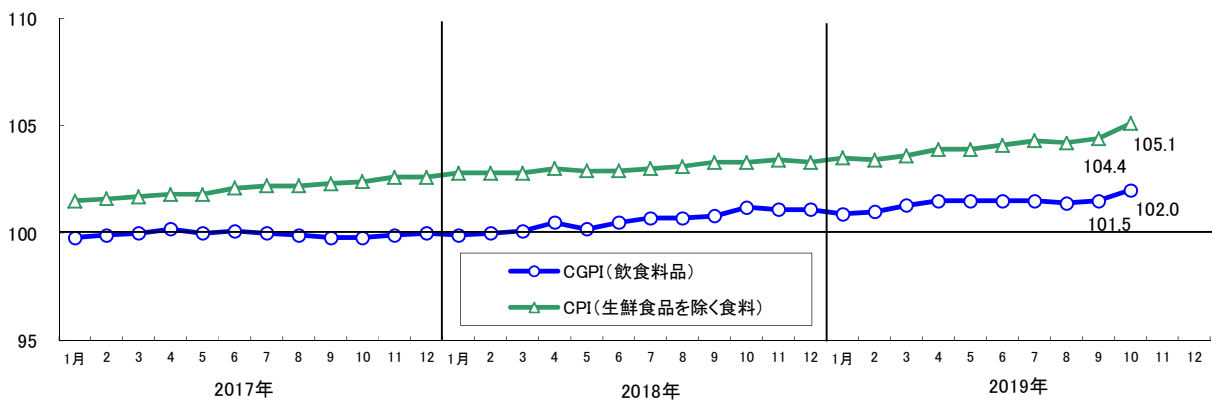
1 加工食品の企業物価及び消費者物価

企業物価および消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、概ね横ばいで推移していたものの、2018年5月以降は上昇傾向にある。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食料）は同105.1で、緩やかに上昇傾向となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数

2015年=100



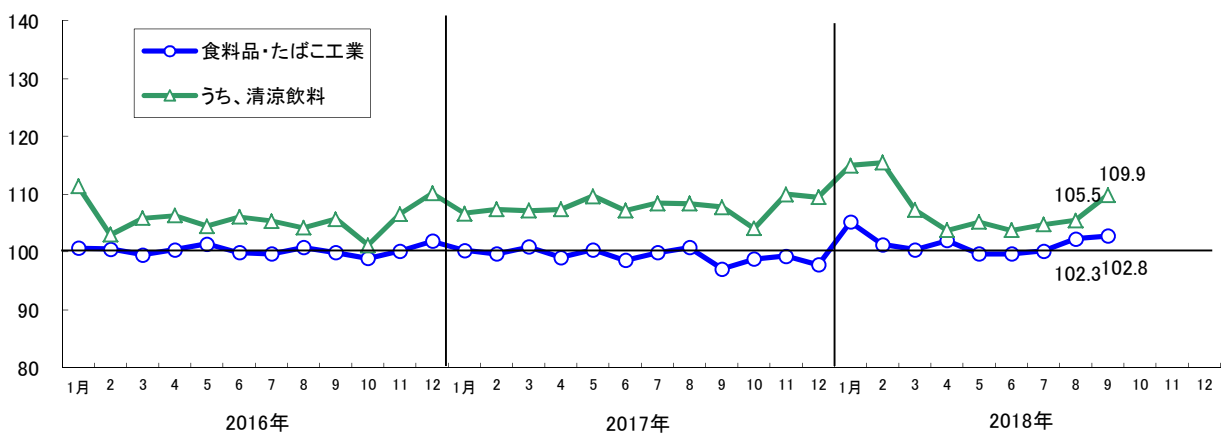
資料: 日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

2 食品製造業の生産動向

食料品・たばこは前月比横ばい、清涼飲料については同やや上昇

2019年9月の食料品・たばこ工業の生産指数は、102.8で前月比0.5%と前月並みとなった。うち、清涼飲料は109.9で前月比4.2%とやや上昇した。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移 2015年=100 季節調整済



資料: 経済産業省「鉱工業生産指数」

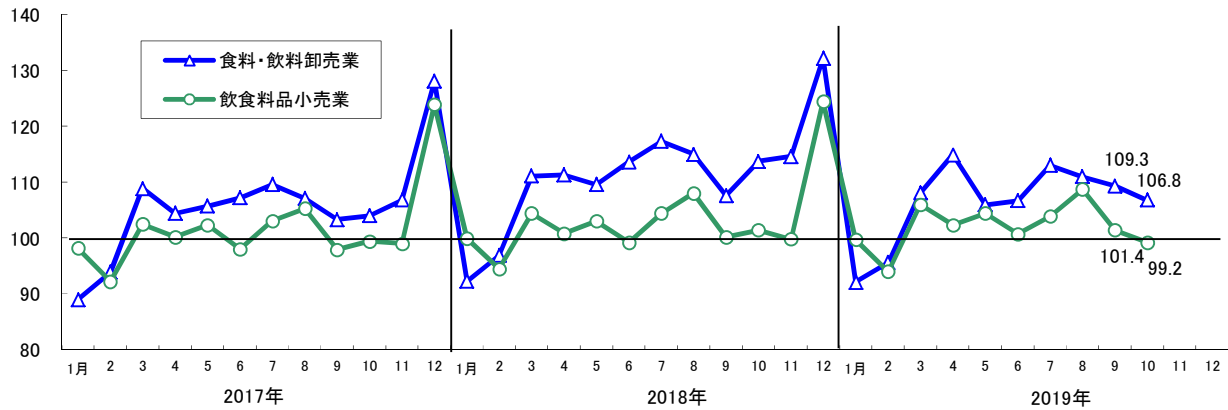
3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額は対前年同月比でかなりの程度低下、小売業販売額は同わずかに低下

2019年10月の食料・飲料卸売業の販売額指数は106.8で対前年同月比▲6.1%とかなりの程度低下した。飲食料品小売業の販売額指数は99.2で同▲2.2%とわずかに低下した。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向

2015年=100



資料:経済産業省「商業販売統計」

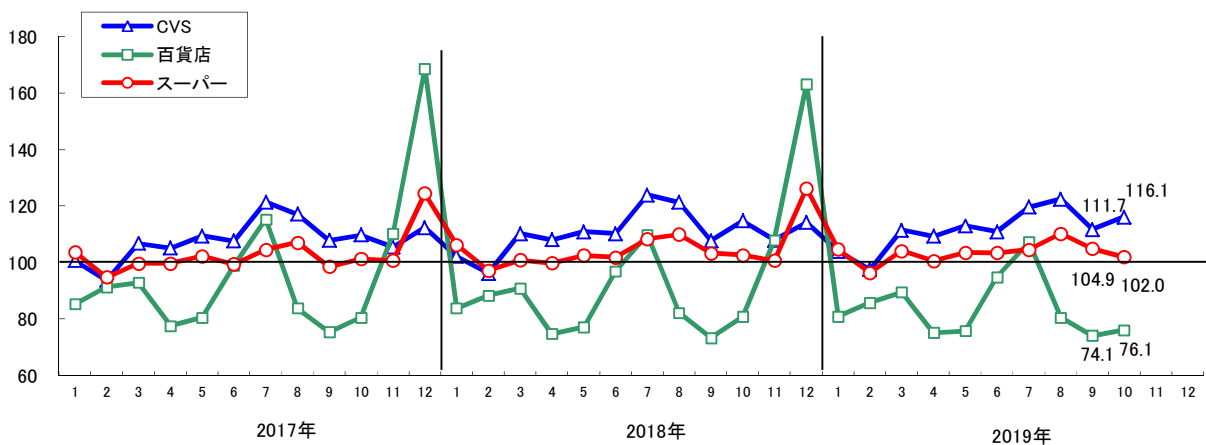
4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

CVSは対前年同月比でわずかに上昇、スーパーは同横ばい、百貨店は同やや低下

2019年10月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは116.1で対前年同月比1.2%とわずかに上昇、スーパーは102.0で同▲0.6%と前年同月並み、百貨店は76.1で▲5.8%とやや低下した。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

2015年=100



資料:経済産業省「商業販売統計」

注:コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。